

「揖保川のこれからの川づくりに関する説明会」 (宍粟市)

概 要

日 時： 平成22年3月6日(土) 14:00～16:00

場 所： 宍粟市山崎文化会館 2階 ホール

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会（宍粟市）

- 日 時：平成 22 年 3 月 6 日(土) 14:00～16:00
- 場 所：宍粟市山崎文化会館 2階 ホール
- 出席者：出席者：一般参加者 21 名

1. 今回の議題について

河川管理者より以下の項目についての説明が行われた。

議題 ①河川整備計画と揖保川流域委員会について②揖保川水系河川整備計画（原案）の構成について、③整備計画における治水対策メニューについて

2. 意見交換

住民の方からの主な意見と河川管理者からの回答は以下のとおりである。

【住民 1】（宍粟市在住）

- 対岸の河東地区では既に堤防の改修工事が行われているが、山崎町三津地区について、今回の計画の中には築堤がなく、河床掘削になっているのはなぜかお聞きしたい。

→（河川管理者による回答）

- 三津地区に関しては、洪水時の水位の低減を図れることを目的として、まずは荒井頭首工から上流の左岸側の高い部分の掘り下げを行いたいと考えている。また、三津地区は昭和 51 年を整備目標にした場合、他の地区より安全であるため、昭和 51 年の洪水を整備目標とした場合に浸水する地区を優先している状況である。

- 昭和 50 年頃に、揖保川は今後 25 年から 30 年以内に揖保川では全面的に改修されると聞いていたが、出来なかった理由をお聞きしたい。

→（河川管理者による回答）

- 整備が遅れている理由は、全国の河川整備がすべて順調に進んでいるわけではなく、経済情勢などを鑑みても、公共事業への投資が少なくなっているのが一つの要因と思っている。

- 昭和 51 年の水害では三津地区は被害をうけていないが、当時は対岸の河東地区の整備がまだ行われていなかったため、現在とは状況が違っている。現状を踏まえて再度調査して頂きたい。

→（河川管理者による回答）

- 三津地区については、全体的に地盤が高いと認識しており、シミュレーションによる検証結果では昭和 51 年の雨が降っても浸水しない想定である。実際に溢れた箇所を解消するために、早急に掘削工事を行い、結果どうなるかを見ていきたいと思っている。

- 河川整備計画の内容について、住民が知る手段はあるかお聞きしたい。

→（河川管理者による回答）

- 河川整備計画が策定された後、インターネットなどで公開するほか、自治体等を通じて住民の皆さんに見ていただけることを予定している。

【住民 2】（宍粟市在住）

- 田井地区について、堤防整備など計画の中に上げている内容が実際に整備される時期を教えてください。

→（河川管理者による回答）

- 整備計画については、流域委員会を経て、来年度中には策定をしたいと考えている。

- 田井地区北部が与井の洞門になっており、今回の洪水においても洞門の所から浸水し被

害を受けたことを把握しているかお聞きしたい。与井の洞門については環境面の配慮も必要と思っているが、対策しないと地区内全体に浸水被害が及ぶ可能性があることから対策を考えて欲しい。

→ (河川管理者による回答)

- 与井地区についても浸水が発生したことは把握している。洪水の際の水位を低下させるために、対岸側に砂が溜まっている部分を緊急掘削で対策する。
- 平成 21 年 8 月の洪水以後、河原が泥沼化している。もうすこし川に親しめる部分を充実してほしい。子供が素直に水に親しめる環境をつくってほしい。

→ (河川管理者による回答)

- 親水性については、自然環境を主眼に置いた見方もあり、それぞれに配慮した場所を設たい。今は、宍粟市役所付近に親水護岸の計画があり、その基盤整備を行う。
- 緊急掘削については、来年度やるということでよいからお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 今月中には施工業者が決まる。その後、各地区に施工計画の説明が出来ると思う。

【住民 3】(宍粟市在住)

- 中安積地区では、従来から遊水地かと思うほど浸水を受けている。今回も相当数の被害を受けた。安積橋の上流西岸の中洲についても安積橋南側の中洲と同じレベルで処理して頂けるのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 緊急掘削については早急にやっていく。地元協力もあり中洲についても、順調に進められそうである。築堤については、中洲の処理が課題で学識経験者と検討している。引原川合流部については、本支川の合流がスムーズに行われるよう、合流点の処理方法を検討し、対策を実施するが、水理的に非常に難しく、模型実験等もやりながら処理をしていくので緊急の掘削より遅れることが考えられる。

【住民 4】(宍粟市在住)

- 潤賀地区は昭和 51 年当時は河床が低かった。緊急掘削後に、再度本格的な掘削はあるのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 現在、河床部で掘れる部分は限られている。しかし堰改築も行う予定であり、それに合わせて将来的にさらに掘削も行う。

【住民 5】(宍粟市在住)

- 今回の水害で水の状況を見に行って、多くの流木が流れており、それによる被害も多く出た。中広瀬には井堰があるが、もし井堰がなければ水の抵抗は少なくなり、この地域は浸水しなかったのではないかと思う。河川内の構造物を点検し、不要なものは撤去してほしい。

→ (河川管理者による回答)

- できるだけ良い形の伐採などを検討していきたいと考えている。加古川で実験的にやっている。少しずつ実験をしながら進めることも重要である。そうしたことも整備計画に書き込みたい。また、井堰は、洪水に影響はあるので今回の整備計画で改築していく計画である。

【住民6】（宍粟市在住）

- 河東地区にある堤防は、東側の堤防が高く、西側が何cmか低い。その分をなんとか揃えていただきたい。

→（河川管理者による回答）

- 河東地区以外にも堤防の左右高さの違いなど、対策の必要性がある場合は維持修繕などで早急に対処していきたい。

以 上